

《担当者名》 木浪 智佳子 kinami@hoku-iryu-u.ac.jp 川崎 ゆかり 三国 久美 谷本 真唯

【概要】

子どもの成長発達および特徴的な疾患の理解に基づき、疾患や治療によって起こる子どもと家族の心身および社会的影響を明らかにする。疾患を有した子どもとその家族に看護援助を提供するための基本的視点を学ぶ科目である。

【学修目標】

1. 小児期に特徴的な疾患の病態・治療の基礎的知識を基に、事例を通して健康障害や治療が子どもの身体・心理・発達、および家族に及ぼす影響をアセスメントすることができる。
2. 1のアセスメントをふまえて看護問題の抽出と看護計画を立案することができる。
3. 基本的な小児看護技術の目的、原則を理解し実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 講義：乳児の清拭の目的と方法	1. 演習のねらいと進め方、評価方法の説明 2. 事例の展開および技術演習の実施に向けた準備 3. 乳児の特徴を考慮した清拭の方法	木浪・川崎・谷本・三国
2	講義 小児における看護過程の進め方 事例：川崎病（幼児期）	1. 小児の看護過程を展開するにあたっての視点、学習方法 2. 事例の提示 3. 川崎病の病態・生理の理解 4. 幼児期の子どもの理解 5. 情報の分類・解釈の考え方の理解 6. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	木浪・川崎・谷本・三国
3	技術演習	乳児の清拭	川崎・木浪・谷本
4	技術演習	1. 子どものバイタルサイン測定の知識と方法 2. 課題学習	三国
5	演習 事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：情報とアセスメントのフィードバック 2. 川崎病の疾患・治療の理解と看護 3. 川崎病をもつ子どもとその家族の理解	木浪・川崎・谷本・三国
6	演習 事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：全体像関連図、統合、看護問題の考え方の理解 2. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	木浪・川崎・谷本・三国
7	演習 事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：全体像関連図、統合、看護問題のフィードバック 2. 看護目標、看護計画の考え方 3. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	木浪・川崎・谷本・三国
8	演習 事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：看護計画のフィードバック 2. 川崎病の看護過程のまとめ	木浪・川崎・谷本・三国
9	講義 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例の提示 2. 気管支喘息の疾患・治療の理解と看護 3. 学童期の子どもの理解	川崎・谷本・木浪・三国

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	講義・演習 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例 の情報収集とアセスメントの考え方の理解 2. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	川崎・谷本・木浪・三国
11	演習 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例：情報収集とアセスメントのフィードバック 2. 気管支喘息をもつ子どもとその家族の理解	川崎・谷本・木浪・三国
12	演習 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例 の全体像関連図、統合、看護問題、看護目標の考え方 3. 個別作業による看護過程の展開（課題学習） 4. 事例：全体像関連図のフィードバック	川崎・谷本・木浪・三国
13	演習 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例：統合、看護問題、看護目標のフィードバック 2. 事例：看護計画の立案と評価基準の考え方 3. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	川崎・谷本・木浪・三国
14	演習 事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例：看護計画のフィードバック 2. 気管支喘息をもつ子どもの観察と看護 3. 事例 の看護過程のまとめ	川崎・谷本・木浪・三国
15	演習のまとめ、評価	1. 事例、 の看護過程のまとめ 2. 臨地実習の準備に関する説明	木浪・川崎・谷本・三国

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験70%（技術演習10%、事例 30%、事例 30%に関する範囲）、提出課題30%

提出課題の内容が不十分な場合および未提出の場合は減点対象とする。

【教科書】

1. 西 基：New Simple Step 小児科 第1版 総合医学社 2020
 2. 二宮 啓子・今野 美紀：小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第3版 南江堂 2017
 3. 今野 美紀・二宮 啓子：小児看護技術 子どもと家族の力をひきだす技 改訂第3版 南江堂 2017
- 教科書1～3は2学年からのものを引き続き使用

【参考書】

事例ごとに提示する

【備考】

- ・講義日程の詳細は、初回のオリエンテーション時に提示する。
- ・技術演習、 はユニフォーム、ナースシューズ着用のこと。

【学修の準備】

1. 2年次の小児病態論や小児看護学で学修した内容を参考にし、小児の年齢別にみた発達の特徴、事例 の疾患、治療、看護について予習する。予習の所要時間は各事例60～80分程度。
2. 授業では課題に対するフィードバックを随時行うので、課題の作成と提出をすること。
課題の内容および提出方法は、初回のオリエンテーション時および授業毎に説明する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 1, 3

【実務経験】

木浪智佳子（看護師）、川崎ゆかり（看護師）、谷本真唯（看護師）、三国久美（保健師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護及び母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。